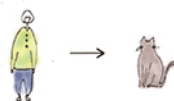




concept

猫は自由で気まま。好きな場所好きなことをして眠って...

それに比べて人間は時間・規則・社会に縛られて苦しい毎日。せめて家は何にも縛られずに猫のように気ままに暮らしたい。そんな夢を提案した。



他場所は狭くて暗くて窮乏。でも、庭の外には光があるんだらう。狭い家でも光が入っていいこと...



そこには自分の猫には入ってこない。私だけの。猫だけの気ままな時間が満ちる場所が広がっている。

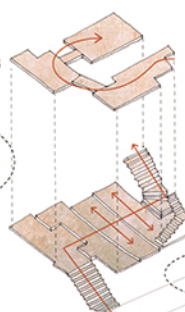
plan

スキップフロアのあをのぼるにつれて、外に開放的にっていく。

二階部分は3つのスラブが渡り、廊下でつながり、階段タラスを包み込む。

動物の気配を感知したスラブが、猫の足音で揺れる。

下の階から上の階へ、つなぐプライベートな階段タラス。



狭いながらも、開放的な空間をつくり出す。

階段タラスが、猫を驚かすことなく、猫が安心できる。

下の階から上の階へ、つなぐプライベートな階段タラス。

CATS 階段・CATS 廊下



CATS 開口



CATS トンネル



CATS 壁



オモチの遊びに対して7mを超える高さの壁を配置し、周辺外部を遮断することで、内部でやり出される家猫の生活を充実させる。影の落ちる方向をすることでオモチからオモチへと入り込める。オモチは小さなアプローチにすることで、"入りくさ"を感じさせるが、ウラは連続した視線の広がりと、下へと続く階段タラスにより中へ誘導させる流れを作り出す。